

明治ホールディングス株式会社

2024年2月15日

報道関係者各位

## 2023年度 CDP「気候変動」および「水セキュリティ」において 最高評価の「A リスト企業」に選定

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫）は、国際環境非営利団体である CDP<sup>※</sup>から、「気候変動」と「水セキュリティ」の両分野に関して、企業の透明性と実績におけるリーダーシップが認められ、最高評価である「A リスト企業」に選定されました。「気候変動」は2年連続、「水セキュリティ」は3年連続の選定です。2023年度の「CDP 気候変動質問書」と「CDP 水セキュリティ質問書」を通じて報告されたデータによると、当社は21,000以上の評価対象企業のうち、両分野でAリストに認定された61社の中の1社となります。



CLIMATE WATER

CDPは詳細かつ独立した評価手法で、企業の情報開示の包括性、環境リスクの認識とマネジメント、野心的で有意義な目標設定など、環境に関する先駆的なベストプラクティスの開示に基づいて、AからD-までのスコアを付与しています。当該スコアは、ゼロ・カーボン、サステナブルでレジリエント（強靱）な経済に向けた投資や調達的意思決定を推進するために広く利用されています。

明治グループは2021年3月に発表した長期環境ビジョン「Meiji Green Engagement for 2050」において、「気候変動」、「水資源」、「資源循環」、「汚染防止」の4つの領域で目標を設定しています。「気候変動」に関しては、2050年までに「サプライチェーン全体でCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）」と「自社拠点における総使用電

力量に占める再生可能エネルギー比率 100%」を目標として設定しています。また、「水資源」に関しては、2050 年までの目標として「自社拠点の水使用量（売上高原単位）を 2017 年度から 50%削減」と「製品原料として使用する水の水源涵養率 100%（ウォーターニュートラル）」を掲げています。

今回の選定は、当社の目標設定や具体的な取り組みの情報開示などが総合的に評価されたものと受け止めています。

今後も明治グループは事業を通じて社会課題を解決するとともに、将来にわたって自然との共生を図るために環境負荷低減に積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

#### ※CDP

CDP は企業、都市、州、地域を対象とした環境情報開示システムを運営している、グローバルな非営利団体です。2000 年に設立され、機関投資家と協働し、資本市場と企業調達によって、企業が環境インパクトを開示し、温室効果ガス排出量削減、水資源保護、森林保護に取り組むよう動機付ける先駆的な役割を担っています。2023 年には、世界の時価総額の 2/3 に相当する上場企業を含む 23,000 社以上、1,100 を超える都市、州、地域が、CDP を通じてデータを開示しています。

#### 【参考情報】

- ・ 明治グループの長期環境ビジョン・環境マネジメントについて  
<https://www.meiji.com/sustainability/harmony/management/>
- ・ 明治グループのサステナビリティに関する外部評価  
<https://www.meiji.com/sustainability/sri/>

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社    コーポレートコミュニケーション部  
TEL：03-3273-3917    メールアドレス：[mhd-pr@meiji.com](mailto:mhd-pr@meiji.com)

以上